

東京・釜石発

「3.11」願う。祈る。



3月11日、東京では音楽を通じて被災地の復興を祈る「東北希望コンサート」が開かれました。このコンサートは、IBCなど民放ラジオ局と

民主音楽協会が被災地の小中学校で開いたものです。東京でのコンサートには岩手出身の二人組「under path!」や沢田知可子さんなど東北ゆかりの歌手4組が出演しました。地震発生時刻である午後2時46分に全員で黙とうしたあと、出演者はそれぞれ復興の願いを込めた曲を歌い、訪れた人たちはその思いを共有していました。この模様は3月22日午後8時からIBCラジオで放送します。(3/12 ニュース)

一方、釜石市では「かまいし復興の祈り」が開かれました。キャンドルの灯りの中で「復興の鐘」を鳴らし、犠牲者へ鎮魂の祈りを捧げるとともに復興への思いを新たにしようと釜石市民が開いたものです。JR釜石駅前におよそ900個のキャンドルが並べられ宵闇に温かい灯りが浮かび上がりました。集まった人たちは静かに灯りを見つめ、祈りを捧げていました。(3/12 ニュース)



釜石発

イオンタウン釜石オープン



被災した中心市街地再生の核となる大型商業施設「イオンタウン釜石」が釜石市にオープンしました。イオンタウン釜石は核店舗のイオンスーパーセンターをはじめ56の専門店が構成され、店内にはフードコートも併設され市民の憩いの場となりそうです。釜石市では、年間およそ500万人の来場が見込まれるこのショッピングセンターを「賑わいの拠点施設」と捉えて期待しています。(3/14 ニュースエコー)

釜石・岩泉発

全線再開に向け試運転



4月の全線運転再開を前に三陸鉄道南リアス線と北リアス線では運休区間で試運転が行われています。南リアス線は釜石駅と大船渡市の吉浜駅の間で、北リアス線では岩泉町の小本駅と田野畑駅の間で試運転が行われています。三陸鉄道では地震で列車がどの場所に停車しても乗客を20分以内に高台に誘導するようマニュアルを改訂しました。4月5日には南リアス線が、翌6日には北リアス線が全線開通となります。(3/12、3/17 ニュースエコー)

宮古発

三陸北部森林管理署新庁舎が完成



津波で全壊した三陸北部森林管理署の新しい庁舎が宮古市に完成しました。3階建ての新庁舎は旧庁舎の敷地内に建てられ、津波で浸水した高さの分を柱だけの空洞にしています。またベランダには外階段が設置され地域住民のための避難施設の役割も。三陸北部森林管理署は4月1日から新庁舎で業務が行われます。(3/14 ニュースエコー)

宮古発

たろちゃんハウス

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、宮古市田老地区にある仮設商店街・たろちゃんハウスについて伝えてくれました。ここには津波で流された田老地区の商店や理容店、食堂などがあり、気軽に立ち寄って店の方や近所の方とおしゃべりをする地域の憩いの場にもなっています。3月23日にはたろちゃんハウスまつりが行われます。テント販売の他、民謡・歌謡ショーや、たろう鍋のおふるまい、餅まき等も行われます。将来に向け不安を抱える被災者も多い中、このようなイベントやお祭りは、皆さんを元気づけ笑顔にさせる癒しのひと時になると話していました。(3/19)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122